

第 4 期飯塚市障がい者計画 新旧対照表

修正箇所（資料の追加や文言の変更）

No	箇所	修正前	修正後
1	P 3		<p>【SDGs の理念との整合】</p> <p>本市は、第 2 次飯塚市総合計画の中間見直しで、SDGs との関連について示しました。</p> <p>これを受けて、本計画に掲げる各施策を推進していくことで、関連する SDGs の目指すゴールの達成にも寄与できるものと考えます。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: center; gap: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>16 平和と公正をすべての人に</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div> <p>※SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標</p>
2	目次 P 1 3	<p>グラフタイトル</p> <p>【障がいのいる世帯】</p>	<p>グラフタイトル</p> <p>【障がい者のいる世帯数】 ※「者」を挿入</p>

3	P 2 3	<p>令和5年5月1日現在、飯塚市内における特別支援学級の設置校数は小学校17校、中学校は10校の計27校となっています。また、通級指導教室は、小学校、中学校ともにありません。</p> <p>放課後児童クラブにおける障がい児の在籍状況は48人で、在籍児童数全体の2.1%となっています。</p>	<p>令和5年5月1日現在、飯塚市内における特別支援学級の設置校数は小学校17校、中学校10校の計27校となっています。また、通級指導教室は<u>小学校3校、中学校1校</u>となっています。</p> <p><u>令和4年度の特別支援学校の就学状況では、小学校で68人、中学校で38人</u>となっています。</p> <p>放課後児童クラブにおける障がい児の在籍状況は48人で、在籍児童数全体の2.1%となっています。</p>
4	P 2 4	<p>表【通級指導教室設置状況】</p> <p>表【放課後児童クラブにおける障がい児の在籍状況】</p>	<p>表【通級指導教室設置状況】</p> <p>表【特別支援学校の就学状況】 ※表の追加</p> <p>表【放課後児童クラブにおける障がい児の在籍状況】</p>
5	P 3 3	<p>施策の基本的方向性</p> <p>○誰もが社会の一員として（中略）「共生社会」や、障がいのある人もない人も（中略）啓発を推進します。（文言挿入）</p>	<p>施策の基本的方向性</p> <p>○誰もが社会の一員として（中略）「共生社会」や、<u>障がいを個性としてとらえ</u>、障がいのある人もない人も（中略）啓発を推進します。</p>

6	P 6 0	(2) 放課後等支援の充実					(2) 放課後等支援の充実				
		主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理	主な事業名	事業内容	事業目標	担当課	管理
		放課後児童クラブ	保護者の就労等によって放課後等の支援を必要とする、障がいのある児童を受け入れています。また、指導員については、障がい児への理解を深めることと資質向上を目的とした研修等を定期的に行い、必要に応じて関係機関と連携しています。	継続	学校教育課		放課後児童クラブ	保護者の就労等によって放課後等の支援を必要とする、障がいのある児童を受け入れています。また、指導員については、障がい児への理解を深めることと資質向上を目的とした研修等を定期的に行い、必要に応じて関係機関と連携しています。	継続	学校教育課	○
						児童センター(館)	児童に健全な遊びを指導し、児童の健康増進及び情操を豊かにすることを目的に設置しています。市内居住の18歳未満のすべての子どもが利用可能です。また、児童厚生員については、障がい児への理解を深めることと資質向上を目的とした研修等を定期的に行い、必要に応じて関係機関と連携しています。	継続	学校教育課	○	

